

## 「高円寺びっくり大道芸 2015」

25日（土）と26日（日）の2日間、高円寺のまちを舞台に、「高円寺びっくり大道芸 2015」が、開催されました。このイベントは、今年で7回目。高円寺では、すっかり夏の風物詩となった高円寺阿波おどりが有名ですが、この比較的新しいイベントも年々来場者を増やし、春の定番行事として定着しています。この2日間で、48組のパフォーマーが登場し、街全体が盛り上がりました。

高円寺は、サブカルチャーの魅力が満載で若者も多く行き交う街です。その高円寺と言えば、真っ先に名前が挙がるのが阿波おどりですが、最近は春に開催される「高円寺びっくり大道芸」と秋の「高円寺フェス」、冬の「高円寺演芸まつり」と合わせて高円寺の四大祭りと呼ばれています。その中でも、びっくり大道芸は、歴史は浅いですが、街のあちこちで繰り広げられる様々なパフォーマンスを見ようと、区内外から多くの来場者がありました。

パフォーマーは、国内外から48組が参加。会場は、座・高円寺や商店街、公園、コインパーキングなど的高円寺駅の南北の約30会場で行われました。多くのパフォーマンスが、午前11時30分から夕方6時まで行われるため、来場者の多くが長い時間を高円寺で過ごし、中には2日間とも訪れたという方も多くいました。



毎回のことですが、国内外で活躍しているパフォーマーが登場。その磨き抜かれた技が街のあちこちで披露されていました。26日午後2時には、駅南口広場には「TOKYO 雑技 京劇団」の演技が行われました。京劇団が、中国の伝統芸能の華麗な舞や空高く積み上げた椅子を使ったバランス技などを披露すると見物客から大きな拍手と歓声があがりました。また、座・高円寺では、多くの見物客が外国人の2人組「フライング・ダッチマン」による一輪車とジャグリングを軽妙な話術とともに楽しみました。このほかにも、街のあちこちで、ダンスや舞踊、そしてジャズやタンゴ、三味線の演奏、さらに芸人さんのコメディなど、様々なパフォーマンスが行なわれ、街全体が盛り上がりました。

### 【報道機関問い合わせ先】

- ・高円寺びっくり大道芸実行委員会（座・高円寺内） TEL:3223-7500
- ・総務部広報課 TEL:3312-2111